

常磐大学 人間科学部コミュニケーション学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅠ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）自分の卒業研究・卒業制作についてコミュニケーション学の観点から説明することができる。	知識・理解	卒業研究・卒業制作のテーマを、コミュニケーション学の観点に基づいて設定し、それについて理論的に体系立てて根拠を述べることができる。	卒業研究・卒業制作のテーマを、コミュニケーション学の観点に基づいて設定し、それについて根拠を述べることができる。	卒業研究・卒業制作のテーマを、コミュニケーション学の観点に基づいて設定することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマを、概ねコミュニケーション学の観点に基づいて設定することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマを、コミュニケーション学の観点に基づいて設定することができていない。
	思考・判断	卒業研究・卒業制作のテーマ設定において、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考および多面的な判断が反映されており、それらについて理論的に体系立てて根拠を述べることができる。	卒業研究・卒業制作のテーマ設定において、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考および多面的な判断が反映されており、それらについて根拠を述べるができる。	卒業研究・卒業制作のテーマ設定において、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考および多面的な判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作のテーマ設定において、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは多面的な判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作のテーマのテーマ設定において、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは多面的な判断のいずれもが反映されていない。
（3）科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションによって、家庭にあっても、地域社会にあっても、企業にあっても、情報化、国際化する社会の中で一定の役割を果たすことができる。	履修生相互の学び	卒業研究・卒業制作のテーマが、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて設定されており、そのプロセスを自ら体系立てて説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマが、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて設定されており、そのプロセスを自ら説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマが、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて設定されている。	卒業研究・卒業制作のテーマが、他者とのコミュニケーションを通じて設定されている。	卒業研究・卒業制作のテーマが、他者とのコミュニケーションを通じて設定されていない。
	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作のテーマについて、社会での位置づけが可能であり、自ら理論的に説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、社会での位置づけが可能であり、自ら説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、社会での位置づけが可能である。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、社会における位置づけがある程度可能である。	卒業研究・卒業制作のテーマに関し、社会における位置づけが曖昧である。

常磐大学 人間科学部コミュニケーション学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅡ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）自分の卒業研究・卒業制作についてコミュニケーション学の観点から説明することができる。	知識・理解	卒業研究・卒業制作のテーマについて、コミュニケーション学の複数の資料との関連の中で、体系立てて説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、コミュニケーション学の複数の資料との関連の中で説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、コミュニケーション学の資料に関連づけて説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、ある程度コミュニケーション学の資料に関連づけて説明することができる。	卒業研究・卒業制作のテーマについて、コミュニケーション学の資料に関連づけて説明できない。
（2）日常生活の中で出会う情報を批判的に読み解き、多面的に判断することができる。	思考・判断	卒業研究・卒業制作を推進するための資料に触れる中で、得た情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断ができ、自ら理論的に体系立てて説明することができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料に触れる中で、得た情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断ができ、自ら説明することができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料に触れる中で、得た情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断ができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料に触れる中で、得た情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断ができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料に触れる中で、得た情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断のいずれもできていない。
（3）科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションによって、家庭にあっても、地域社会にあっても、企業にあっても、情報化、国際化する社会の中で一定の役割を果たすことができる。	履修生相互の学び	卒業研究・卒業制作を推進するための資料をめぐって他者とコミュニケーションをとり、その内容について自ら体系立てて説明することができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料をめぐって他者とコミュニケーションをとり、その内容について自ら説明することができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料をめぐって他者とコミュニケーションをとることができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料をめぐってある程度他者とコミュニケーションをとることができる。	卒業研究・卒業制作を推進するための資料をめぐって他者とコミュニケーションをとることができていない。
	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作について、自分のテーマの学術的な位置づけを理解し、自ら理論的に説明することができる。	卒業研究・卒業制作について、自分のテーマの学術的な位置づけを理解し、自ら説明することができる。	卒業研究・卒業制作について、自分のテーマの学術的な位置づけが理解できている。	卒業研究・卒業制作について、自分のテーマの学術的な位置づけがある程度理解できている。	卒業研究・卒業制作について、自分のテーマの学術的な位置づけが理解できていない。

常磐大学 人間科学部コミュニケーション学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅰ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
(1) 情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に幅広く関心を持つことができる。	関心・意欲・態度	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に対する関心がある程度反映されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されていない。
	知識・理解	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、ある程度コミュニケーション学の知見に基づいて構築されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、ある程度コミュニケーション学の知見に基づいて構築されていない。
(2) 自分の卒業研究・卒業制作についてコミュニケーション学の観点から説明することができる。	思考・判断	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断が反映されていない。
	履修生相互の学び	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されており、そのプロセスについて理論的に説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されており、そのプロセスについて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者とのコミュニケーションを通じてある程度決定されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者とのコミュニケーションを通じて決定されていない。
(3) 日常生活の中で出会う情報を批判的に読み解き、多面的に判断することができる。	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら理論的に説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決にある程度応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できない。
	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら理論的に説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決にある程度応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できない。
(4) 科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションによって、家庭にあっても、地域社会にあっても、企業にあっても、情報化、国際化する社会の中で一定の役割を果たすことができる。	履修生相互の学び	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されており、そのプロセスについて理論的に説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されており、そのプロセスについて説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションを通じて決定されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者とのコミュニケーションを通じてある程度決定されている。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、科学的な知見を基礎とした他者とのコミュニケーションを通じて決定されていない。
	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら理論的に説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が社会における諸問題解決に応用でき、それを自ら説明できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決にある程度応用できる。	卒業研究・卒業制作を推進するための方法論が、社会における諸問題解決に応用できない。

常磐大学 人間科学部コミュニケーション学科 成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅱ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にいるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に幅広く関心を持つことができる。	関心・意欲・態度	卒業研究・卒業制作に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されている。	卒業研究・卒業制作に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に対する関心がある程度反映されている。	卒業研究・卒業制作に、情報社会におけるメディアとコミュニケーション、国際社会における外国人の人々とのコミュニケーション現象に対する関心が反映されていない。
（2）自分の卒業研究・卒業制作についてコミュニケーション学の観点から説明することができる。	知識・理解	卒業研究・卒業制作が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作が、コミュニケーション学の知見に基づいて構築されている。	卒業研究・卒業制作が、ある程度コミュニケーション学の知見に基づいて構築されている。	卒業研究・卒業制作が、ある程度コミュニケーション学の知見に基づいて構築されていない。
（3）日常生活の中で出会う情報を批判的に読み解き、多面的に判断することができる。	思考・判断	卒業研究・卒業制作に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されており、それについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されており、それについて説明できる。	卒業研究・卒業制作に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、および情報に関する多面的判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断が反映されている。	卒業研究・卒業制作に、日常生活の中で出会う情報に対する批判的思考、あるいは情報に関する多面的判断が反映されていない。
（4）科学的な知見を基礎とした他者との円滑なコミュニケーションによって、家庭にあっても、地域社会にあっても、企業にあっても、情報化、国際化する社会の中で一定の役割を果たすことができる。	履修生相互の学び	卒業研究・卒業制作がある程度、科学的な知見を基礎とした他者とコミュニケーションを通じて行われ、そのプロセスについて理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作がある程度、科学的な知見を基礎とした他者とコミュニケーションを通じて行われ、そのプロセスについて説明できる。	卒業研究・卒業制作が、科学的な知見を基礎とした他者とコミュニケーションを通じて行われている。	卒業研究・卒業制作がある程度、科学的な知見を基礎とした他者とコミュニケーションを通じて行われている。	卒業研究・卒業制作が、科学的な知見を基礎とした他者とコミュニケーションを通じて行われていない。
	思考・判断・表現	卒業研究・卒業制作が社会における諸問題の解決に応用でき、その理由を自ら理論的に体系立てて説明できる。	卒業研究・卒業制作が社会における諸問題の解決に応用でき、その理由を自ら説明できる。	卒業研究・卒業制作が、社会における諸問題の解決に応用できる。	卒業研究・卒業制作が、社会における諸問題の解決にある程度応用できる。	卒業研究・卒業制作が、社会における諸問題の解決に応用できない。